

「大阪台車検査車両所における助勤に関する申し入れ」を上申

2月25日、大阪修繕車両所の勤務発表で、一部社員に対して日勤（※助）の指定がされています。そして（※助）は、大阪台車検査車両所における助勤と記されています。今回の助勤で、大阪修繕車両所の要員が減となり、社員に対し年休抑制や休日出勤等が行われることが予測されることや、助勤を指定された社員の業務内容等があきらかでないこと。また、大阪台車検査車両所では昨年より台車枠の亀裂による UT・FB 検査、神戸製鋼のデータ改ざんによる軸箱交換・検査作業さらに周期延伸＝80万kmテストカーの台検入場による大幅な作業変更にとまなう残業・休日出勤が発生していることから。台車検査車両所分会と合同で、JR東海労新幹線関西地本に以下の内容で解明要求を申し入れました。

- ①大阪台車検査車両所における助勤とあるが、何故、転勤ではなく助勤なのか明らかにされたい。
- ②大阪修繕車両所と大阪台車検査車両所の要員数を明らかにされたい。
- ③大阪台車検査車両所に必要な要員を確保し、年休抑制及び休日出勤を早急に解消されたい。
- ④助勤により大阪修繕車両所の要員が減となり、社員に対して年休抑制や休日出勤等が発生しないのか明らかにされたい。
- ⑤助勤の期間は決まっているのか、決っているのであれば、いつからいつまでか明らかにされたい。また、助勤の日数を明らかにされたい。
- ⑥大阪修繕車両所から大阪台車検査車両所への助勤は2名となっているが、他の車両所から大阪台車検査車両所への助勤はないのか。また、今後、助勤者が増える可能性があるのか明らかにされたい。
- ⑦助勤者の大阪台車検査車両所での作業内容は何か明らかにされたい。
- ⑧助勤者の作業内容を明らかにされたい。
- ⑨各車両所に必要な要員を確保し、助勤による要員不足を補うようなことはやめられたい。

明るく働きやすい職場を創るために

みんなで声を上げていきましょう！！